

謎その3 教育委員会がどんなことをやっているか… 知っているかな？

さあ、これが最後の謎だ！
名犬シャロック君



- ・市長から独立した行政機関として「教育委員会」が置かれています。
- ・宇都宮市では5名の教育委員会委員がいて、学校教育や生涯学習、文化振興やスポーツ振興など教育行政を実施する役割を担っています。
- ・ここで5名の教育委員会委員から「宮っ子の誓い」について話してもらいましょう。



私たちが宇都宮市の教育委員会委員です

宮っ子の誓い

わたしたちは、北関東の真ん中にふんばる「宇都宮っ子」、ともに輝く未来に向かって進みます。

- 1 「宮っ子」は、きまりを守る素直な心持ってます。
- 2 「宮っ子」は、よわい人をいたわる心持ってます。
- 3 「宮っ子」は、美しいものを愛する心持ってます。
- 4 「宮っ子」は、夢を抱いてやりぬく心持ってます。

委員の伊藤一です。
(写真左)

【1 きまりを守る素直な心について】

サッカーにはオフサイドという決まりが、将棋には定跡という決まりがあります。オフサイドを無視するプレイヤーがいたらサッカーは面白くないでしょう。定跡を勉強しないと将棋は上達しないですね。

決まりを守るのは皆で楽しく豊かな時間を過ごすため、自分が向上するために必要な事なのです。皆が素直な心で決まりを守れば素敵な仲間ばかりになるでしょう。

みんなを思いやりながら、「きまり」を守る人になってほしいという願いが込められています。

委員の若度哲久です。
(写真左から2番目)

【2 よわい人をいたわる心について】

人は誰も「つよさ」や「よわさ」を持っています。

お互いが自らの持つ「つよさ」や「よわさ」を補い、支えあえれば、住みやすく心豊かな、より良い社会が形成されます。

相手の立場に立って人を思いやる心など、いたわる心が大切です。

「よわさ」を心で感じ、いたわりの気持ちをもって行動してほしいという願いが込められています。

委員長の大場文恵です。
(写真中央)

【宮っ子の誓いについて(総括)】

「宮っ子の誓い」は日常生活の中で子どもたち自らが実践できる行動規範です。学校・家庭・地域等が一体となって子どもたちを育むための拠り所として平成19年12月に制定しました。

この4つの誓いをいつも心の中に持つことで、少し迷った時、心が弱くなりそうな時など、どんなときにも自分を信じて行動することができると思います。皆様の生活の中で役立ててください。

委員長職務代理者の松江比佐子です。
(写真右から2番目)

【3 美しいものを愛する心について】

自然や芸術など私たちの身の回りには、たくさんの「美しいもの」があります。

頭上に広がる空や雄大な風景、美術作品や音楽、人間や動植物の姿も美しいものです。また、目には見えなくても、人の心の動きや行いにも美しさを感じさせるものがたくさんあります。

そんな「美しいもの」を心で感じとり、愛せる人になってほしいという願いが込められています。

教育長の水越久夫です。
(写真右)

【4 夢を抱いてやりぬく心について】

自分の可能性を信じ「夢」を持つことはとても大切なことです。

夢を実現するためには、あきらめずに努力を積み重ねることが大切です。途中には多くの困難や挫折があるかもしれませんが、しかし、自分の力を信じ、ひとつひとつ取り組むことで、困難を乗り越えられると思います。

「夢」の実現を目指し、希望を持って粘り強く何事にも取り組める人になってほしいという願いが込められています。

教育委員会は5人の委員から成り立っているのか。
「宮っ子の誓い」にはたくさんの願いが込められていることがわかったぞ！
でも、「いじめや体罰」、「災害」など、教育委員会を取り巻く問題はたくさんある…。
一体どんな取組をしているのだろうか？ これは難しい謎だ。
僕に謎を出している君は誰？ そして、答えを教えてください！！

